

「十字架の死による祝福」パート1

(1) 救い

・マルコ8:36

人は、たとえ全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得がありません。

・イザヤ53；6

私たちはみな、羊のようにさまよい、おのれの、自分かってな道に向かって行った。

しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。

『救い』とは→イエスキリストが私やあなた、全人類の重荷、悪、罪を背負って下さる  
ということです。

イエスキリストは、ご自身の血をもってあがなって下さいました。

私たちがイエスキリストを受け入れるなら、神の前では、私たちは一度も罪を犯さ  
なかった  
者とされます。

・コロサイ1：20～22

その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、御子のために和解させて

くださったからです。地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させてく

だされたのです。

あなたがたも、かつては神を離れ、心において敵となって、悪い行いの中にあっただ  
のですが、今は神は、御子の肉のからだにおいて、しかもその死によって、あなた  
がたをご自分と和解させて下さいました。それはあなたがたを、聖く、傷なく、  
非難されるところのない者として御前に立たせて下さるためでした。

・コロサイ2：14～15

いろいろな定めのために私たちに不利な、いや、私たちを責め立てている債務証書を無効にされたからです。神はこの証書を取りのけ、十字架に釘づけにされました。

神は、キリストにおいて、すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし、彼らを捕虜として凱旋の行列に加えられました。

イエスキリストは、自分をムチ打ち、のろう人々に対し、彼らが滅びに向かっていくことを知って十字架の上においてさえ、彼らのためにとりなしをなさいました。なぜならイエスキリストは父なる神様が私達を愛されたように、私達を愛して下さったからです。

## (2) 身体のいやし

十字架上でイエスキリストは私たちの病をも支払って下さいました。

### ・ マタイ8：17

これは、預言者イザヤを通して言われた事が成就するためであった。「彼が私たちのわずらいを身に引き受け、私たちの病を背負った。」

### ・ ヨハネ8：36

ですから、もし子があなたがたを自由にするなら、あなたがたはほんとうに自由なのです。

### ・ 詩篇103：2～3

わがたましいよ。主をほめたたえよ。

主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。

主は、あなたのすべての咎を赦し、

あなたのすべての病をいやし、

もし、イエス・キリストを信じるならどんな病気でも、すでによされています。しかし、不従順な者はいやされません。

## (3) 天国への無償の入り口を持っている。

わたしたちは天を見上げ「・・・この祈りをささげます」と言って祈ることができません。

旧約においては、祭司を通してのみ、神と語る事ができました。

祭司は一年に一度、宮の幕の中に入り、罪のあがないのため動物の血を注いでいましたが

イエス・キリストが十字架で死なれた時、その幕が真二つに裂けました。

・マタイ27：50～51

そのとき、イエスはもう一度大声で叫んで、息を引き取られた。

すると、見よ。神殿の幕が上から下まで真二つに裂けた。そして、地が揺れ動き、岩が裂けた。

・ヘブル4：14～16

さて、私たちのためには、もろもろの天を通られた偉大な大祭司である神の子イエスがおられるのですから、私たちの信仰の告白を堅く保とうではありませんか。

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでしたでしたが、すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。

ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

・ヘブル5：1～10

大祭司はみな、人々の中から選ばれ、神に仕える事からについて人々に代わる者として、任命を受けたのです。それは、罪のために、ささげ物といけにえとをささげるためです。

彼は、自分自身も弱さを身にまとっているのも、無知な迷っている人々を思いやることができるのです。

そしてまた、その弱さのゆえに、民のためだけでなく、自分のためにも、罪のためのささげ物をしなければなりません。

まただれでも、この名誉は自分で得るのではなく、アロンのように神に召されて受けるのです。

同様に、キリストも大祭司となる栄誉を自分で得られたのではなく、彼に、

「あなたは、わたしの子。

きょう、わたしがあなたを生んだ。」

と言われた方が、それをお与えになったのです。

別の個所で、こうも言われます。

「あなたは、とこしえに、

メルキゼデクの位に等しい祭司である。」

キリストは、人としてこの世におられたとき、自分を死から救うことのできる方に向かって、大きな叫び声と涙とをもって祈りと願いをささげ、そしてその敬虔のゆえに聞き入れられました。

キリストは御子であられるのに、お受けになった多くの苦しみによって従順を学び、

完全な者とされ、彼に従うすべての人々に対して、とこしえの救いを与える者となり、

神によって、メルキゼデクの位に等しい大祭司ととなえられたのです。

・ヘブル7：25

したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことがおできになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。

・1ヨハネ2：1～2

私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。もしだれかが罪を犯すことがあれば、私たちには、御父の前で弁護する方がいます。義なるイエス・キリストです。

この方こそ、私たちの罪のための——私たちの罪だけでなく、世全体のための——なだめの供え物です。

#### (4) サタンに勝利する権威

十字架の死によって、イエス・キリストは私たちに敵に勝利する力を与えて下さいました。

・ヨハネ10：10

盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。

わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。

サタンは、神のイメージによって造られた人間を憎み、その魂と体を滅ぼそうとします。

ヨハネ16章11節で、十字架にかかる前に、イエス・キリストは弟子たちにサタンの裁かれる

時がきたことを語りました。

イエス・キリストが十字架にかかって死んだことによりサタンは有罪を宣告され裁かれました。

・ヨハネ16：11

さばきについてとは、この世を支配する者がさばかれたからです。

・ローマ8：31

では、これらのことからどう言えるでしょう。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対でしるでしょう。

ですからサタンは私たちに敵対する力はありません。

・マルコ16：17～18

信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し

新しいことばを語り、蛇をもつかみ、たよい毒を飲んでも決して害を受けず、また、病人に手を置けば病人はいやされます。

・ヤコブ4：7

ですから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。

・ルカ10：19

確かに、わたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ

権威を授けたのです。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。